

稼げる！プロコン育成塾 第3回講義

東京都中小企業診断士協会 中央支部認定マスターコース

開催日時 2012年9月8日(土) 10:00～17:00
開催場所 中央支部事務所
講義内容 『診る(コンサルティング)スキルを習得する①』
『実務診断を通じたプロコンとしての実践スキルの習得』

担当講師 田中敏夫 先生
亀田憲 先生

特別企画 ビジネスに活かす服装術～外見が第一印象を左右する～
担当講師 柘植裕子 先生

★当日の流れ

10:30～ 診断先企業へのヒアリング
12:00～ 昼食、移動

13:30～ ヒアリング内容の整理
15:00～ 課題関連図の作成
16:45～ 次回講義についての説明

17:00～ 特別企画カリキュラム
「ビジネスに活かす服装術」～外見が第一印象を左右する～

★講義の風景



写真1 班ごとに田中先生の直接指導が入ります



写真2 書き出した事実を模造紙に張り出します



写真3 模造紙の事実をグルーピングしていきます



写真4 事実にどのようなつながりがあるのか検討中



写真5 特別企画 春夏秋冬のカラーチャート



写真6 顔の色で似合う色も変わってくるようです

★第3回講義を終えて

9月8日土曜日、いよいよ12期育成塾の実務診断講義がスタートしました。実務診断講義は、12期生を3つの班に分け、全3回のプログラムで行われます。この日は実務診断の初回講義、都内某所の診断先企業様へのヒアリング訪問が行われました。塾生たちはこの日までにヒアリングの事前準備を進めてきました。まずは各個人が業界調査を行い、それを踏まえてヒアリング項目を検討します。個人ごとに考えられたヒアリング項目は各班で集約、3つの班ごとに割り振られた分野で、各班の班長が中心となりそれぞれの質問項目をまとめました。そして、実際のヒアリングです。事前に用意された項目を各班のヒアリング担当者が診断先企業の経営者様に交代で質問していきましました。ヒアリングで診断先企業の現状などを知ることは今後の診断を進めるうえで非常に重要になってきます。事前準備の甲斐があり、今後の経営支援を行うにあたって有効な情報が得られたのではないかと思います。

ヒアリング後は中央支部事務所に移動、早速午後の講義のスタートです。今回の実習では、『TT法』という手法を使い、診断先企業の経営課題の整理と経営戦略の立案を行います。『TT法』の一つ目の手順は、ヒアリングや事前調査などによって収集した情報を各班内で共有する作業です。各班の班員は、それぞれ把握した事実を付箋紙に記入し、それを模造紙に貼り出します。模造紙に貼り出すことで、お互いにわかっているつもりだった事実を見える化し、認識を統一化しました。各班内ですべての事実を出し切ったら次の手順です。ここでは、模造紙に貼り出した事実をグループ化し、それぞれのグループに見出しをつけていきます。この見出しは、「〇〇する」というような行動表現にするというのがポイントです。見出しが出来上がったら次のステップ。次のステップは今回の実習の鍵になる経営課題関連図の作成ですが、こちらは作成途中でタイムオーバー、今回の講義は終了です。経営課題改善図の内容については、また次回のレポートでご報告いたします。

さて、第3回の育成塾の講義はここまでで終了ですが、今回はカリキュラム外の内容の特別講義が行われました。特別講義のタイトルは、『ビジネスに活かす服装術』です。講師はパーソナルカラー&イメージコンサルタントの柘植裕子先生。ビジネスを行う上で、相手に与えるイメージは非常に大切です。今回は基本講義をしていただくと共にプロの視点から育成塾のメンバーの服装チェックをしていただきました。参加者のみなさんは実際にチェックを受けると、自分が似合うと思っていた服装と客観的な視点で見て似合うものの差に驚いていました。服装も、「はた目の自分」を意識することが印象UPの秘訣のようです。柘植先生どうもありがとうございました！

(事務局長:金子敦彦)